

『証券経済研究』 第100号の発刊に当たって

公益財団法人 日本証券経済研究所

理事長 増 井 喜一郎

当研究所刊行の学術誌『証券経済研究』が第100号を迎えました。『証券経済研究』は平成8年5月に、それまでの東京研究所の『証券研究』（昭和36年11月創刊）と大阪研究所の『証券経済』（昭和34年8月創刊）の二誌を統合し、証券関係の新たな学術誌として創刊されたものです。創刊以来20年余り、お陰様で本誌に御投稿頂いた多くの研究者の御尽力や関係者の御理解、御協力により、我が国では数少ないクオリティの確保された証券関係学術誌として評価を頂いてきたと自負しています。

今回の100号発刊を機に、当研究所研究員経験者を中心としたメンバーで座談会を開催し、本誌の創刊時の経緯や編集方針、現在の編集の状況、将来の課題などについて論じてもらいました。詳細は本文に譲りますが、そこでは、創刊以来の経済金融情勢、証券市場などの環境変化や学界、証券界の変貌が本誌の編集にも大きな影響を与えてきたことが見てとれます。そして、本誌が今後多くの研究者、関係者に一層評価して頂くためには、研究者の育成、理論と現場の双方を踏まえた的確な研究テーマの設定などの諸課題をこれまで以上に精進、研鑽を積み重ねて克服していかなければならないことを痛感する次第です。

次の100号に向けて、本誌が証券市場や国民経済の発展に少しでも貢献することとなる様当研究所として一層努力することを心に刻みながら、今後とも皆様にさらなる御指導、御支援を賜りますように心よりお願い申し上げます。